

# 平成 28 年度 環境報告書

対象期間： 平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 3 月 31 日

岡山産興株式会社

平成 29 年 月 日 発行

# 目 次

1. ごあいさつ
2. 会社概要
3. 環境マネジメントシステム組織図
4. 環境方針
5. 環境目標の実績
6. 環境目標
7. 環境活動計画
8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
10. 代表者による全体評価と見直し

## 1. ごあいさつ

# 地球を大切に

私たち岡山産興(株)が自らの課した使命です。  
昔から廃棄物は厄介物として扱われてきました。  
しかし、高度な技術により廃棄物処理が進む中、現在では地球にとっていかに良い資源に  
リサイクルするかということが重要な課題となっております。  
そこで私たちは、多種多様な廃棄物を可能な限りリサイクルし、  
再資源化することを最大の使命だと考えます。

当社は昭和 59 年創業以来、樹木の皮、汚泥、可燃性のゴミ等の  
産業廃棄物の全面リサイクルに取り組んできました。  
平成 7 年有機性汚泥の中間処理施設(発酵・肥料化)開設  
平成 17 年焼却炉の中間処理施設(熱利用・脱臭)開設

未来の子供たちに何かを残すことが出来るか、  
何を考えていけば良いか生活者の安心・安全を念頭に置き、  
企業理念としても掲げておりますが、  
「地球を大切に」する企業であり続けたいと思っております。



## 2. 会社概要

(1) 会社名 岡山産興株式会社

本社： 岡山県倉敷市中島2407-119

福山工場： 広島県神石郡神石高原町大矢27

成羽工場： 岡山県高梁市成羽町佐々木210

(2) 設立 昭和59年6月1日

(3) 資本金 1,000万円

(4) 代表取締役 木村 節夫

(5) 従業員数 35名

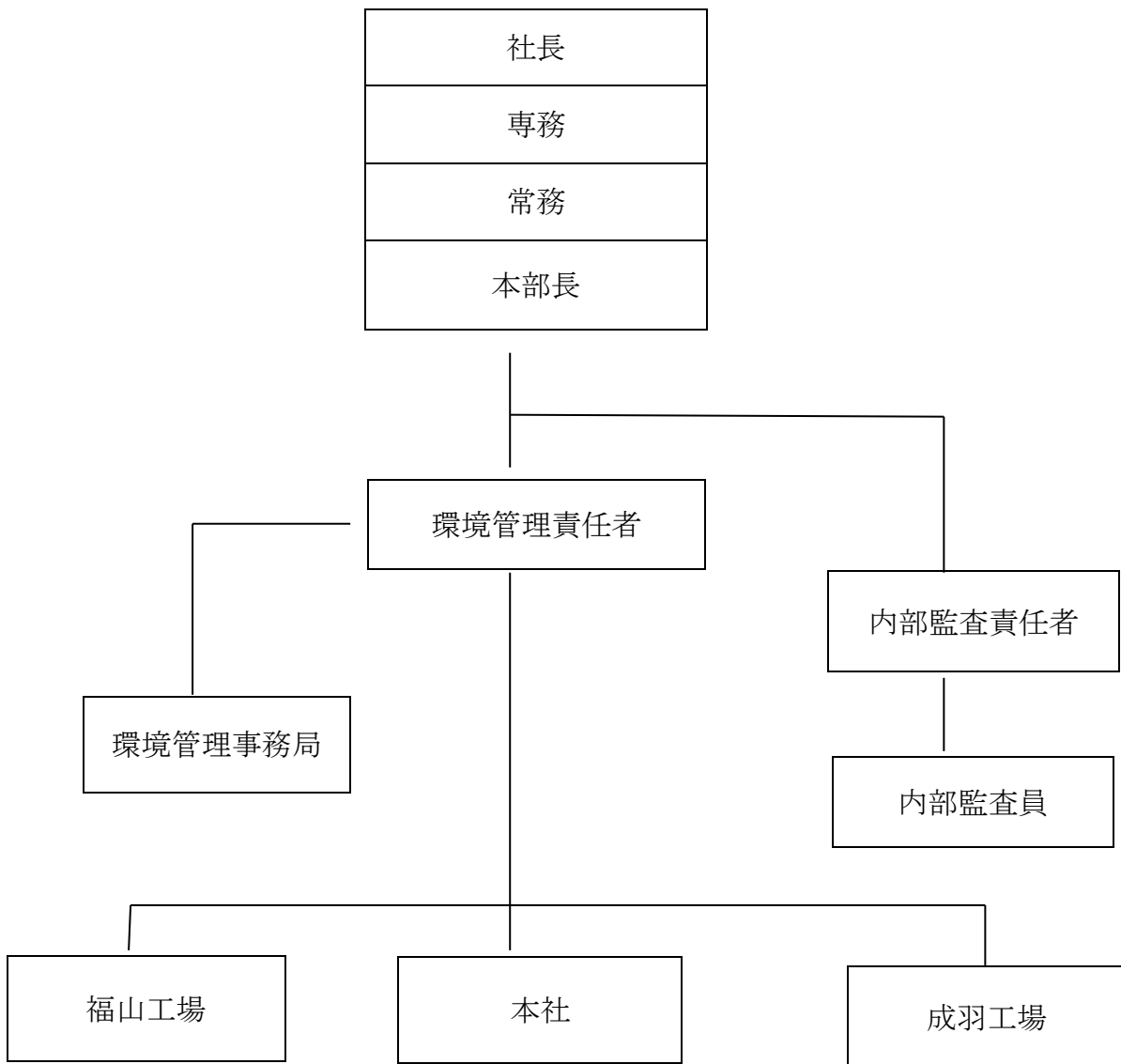
(6) 事業内容

- ①特別管理産業廃棄物処理業
- ②特別管理産業廃棄物収集運搬業
- ③産業廃棄物処理業
- ④産業廃棄物収集運搬業
- ⑤有機性汚泥のコンポスト化
- ⑥排熱利用施設

(7) 許可一覧

- |                 |          |               |
|-----------------|----------|---------------|
| ①特別管理産業廃棄物処分業   | 広島県      | 第3427040572号  |
| ②特別管理産業廃棄物収集運搬業 | 広島県      | 第3457040572号  |
|                 | 岡山県      | 第3305040572号  |
|                 | 倉敷市      | 第10060040572号 |
|                 | 兵庫県      | 第02853040572号 |
|                 | 大阪府      | 第02750040572号 |
|                 | 三重県      | 第02450040572号 |
| ③産業廃棄物処分業       | 広島県      | 第03427040572号 |
| ④産業廃棄物収集運搬業     | 広島県      | 第03407040572号 |
|                 | 岡山県      | 第03315040572号 |
|                 | 鳥取県      | 第03101040572号 |
|                 | 三重県      | 第02400040572号 |
| ⑤肥料登録           | 生第80758号 |               |
| ⑥計量証明事業登録       | 第255号    |               |

### 3.環境マネジメントシステム組織図



### 4.環境方針

#### 基本理念

私達は、未来の子どもたちに何を残すことが出来るか、何を考えていけば良いか

生活者の安心・安全を目指し社会に貢献します。

#### 環境方針

私達は、多種多様な廃棄物を可能な限りリサイクルし、「再資源化」することを最大の使命とし、廃棄物の収集・運搬及び処理業務に関わる全ての事業活動において地球の環境に配慮した企業を目指します。

#### 行動指針

1. 環境法令、条例、その他要求事項を遵守し、安全に業務を遂行します。
2. 廃棄物の再資源化を可能な限り行い、資源の有効利用を促進します。
3. わが社の業務が与える地域並びに地球環境への影響を明確にし、環境目標を定め定期的に見直し、改善を行います。
4. 廃棄物を指針及び規範に基づき、安全且つ適正に処理を行います。
5. 本方針は当社で働くすべての従業員に周知徹底するとともに、社外より要求があった場合は開示します。

平成25年10月1日

岡山産興株式会社

代表取締役社長 木村節夫

## 5.環境目標の実績

### (1) 概要 (平成 28 年度)

#### 1. エネルギー使用量

種類	単位	数量	備考
軽油	ℓ	25,340	
灯油	ℓ	9,150	
電気	kwh	1,786,582	
処分量当たりの温室効果 ガス排出量	Kg- co2/kg	968,257	

#### 2. 受託した廃棄物の運搬量

種類	単位	数量	備考
廃プラスチック類	t	280	
木くず	t	0	
紙くず	t	0	
繊維くず	t	0	
ガラスくず	t	0	
廃酸	t	0	
廃アルカリ	t	0	
感染性廃棄物	t	2,695	
燃えがら	t	10	
ばいじん	t	41	

#### 3. 受託した廃棄物の処理量

種類	単位	数量	備考
廃プラスチック類	t	2,832	
木くず	t	1,479	
紙くず	t	813	
繊維くず	t	193	
ガラスくず	t	6	
感染性廃棄物	t	3,205	
汚泥	t	13	

#### 4. 廃棄物排出量

種類	単位	数量	備考
燃えがら（管理型埋立）	t	832.50	
燃えがら（溶融）	t	25.32	
燃えがら（他用途原材料化）	t	154.66	
ばいじん（溶融）	t	3.22	
ばいじん（他用途原材料化）	t	81.25	

#### 5. 排ガス測定結果

種類	単位	数量	備考
ダイオキシン類	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	2.9	平成 28 年 5 月 10 日
ばいじん	g/m <sup>3</sup>	0.067	平成 28 年 5 月 10 日
硫黄酸化物	ppm	1.0	平成 28 年 5 月 10 日
窒素酸化物	ppm	62	平成 28 年 5 月 10 日
塩化水素	ppm	3.6	平成 28 年 5 月 10 日
一酸化炭素	ppm	13	平成 28 年 5 月 10 日
酸素	%	13.9	平成 28 年 5 月 10 日



6.環境目標実績表

	平成 25 年度 (実績)	平成 26 年度 (実績)	平成 27 年度 (目標)
軽油の使用量(ℓ)	25,830	25,630	25,600
灯油の使用量(ℓ)	9,686	9,574	9,150
電力の使用量(kw)	1,809,786	1,808,926	1,808,500
処分量あたりの 温室効果ガス排出量 (kg-co2/kg)	972,649	971,531	971,500
焼却処理の安定化	稼働日数／計画日数 100%	稼働日数／計画日数 100%	稼働日数／計画日数 100%
達成率	○(100%)	○(100%)	

	平成 27 年度 (実績)	平成 28 年度 (目標)	平成 28 年度 (実績)
軽油の使用量(ℓ)	25,381	25,350	25,340
灯油の使用量(ℓ)	9,322	9,300	9,000
電力の使用量(kw)	1,787,589	1,787,000	1,786,582
処分量あたりの 温室効果ガス排出量 (kg-co2/kg)	968,720	968,500	968,257
焼却処理の安定化	稼働日数／計画日数 100%	稼働日数／計画日数 100%	稼働日数／計画日数 100%
達成率	○(100%)		○(100%)

## 7.環境活動計画

「環境目標実施計画書」に従い、現状調査、運用手順、基準の作成、教育、実施及びモニタリングを実施する。

.

## 8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

運用手順に従って、基準の作成、現場教育に力を入れていく。

## 9.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

平成24年度中のダイオキシン法定検査において基準値をオーバーした。

## 10. 代表者による全体評価と見直し

環境関連法規でダイオキシンの基準値をオーバーした。

今後は環境関連法規を厳守し、環境活動計画に従って運営していく。

## 12. 第三者認証

当社は、平成26年11月にISO14001:2004を福山工場において認証取得し、環境活動を継続しています。